

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより



秋田大学医学部附属病院 地域医療患者支援センター・がん相談支援センター 発行

第54号

益々広がる地域医療患者支援センター・ がん相談支援センターの活動

センター長 飯島 克則

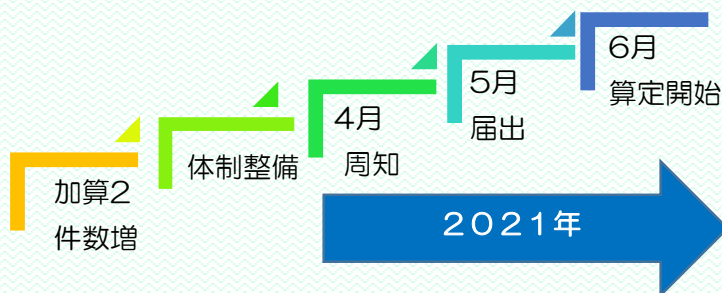


4月から地域医療患者支援センター・がん相談支援センターのセンター長を拝命しました。当センターは、入院支援部門、地域医療連携部門、がん・遺伝相談部門、相談支援部門の4つの部門からなり、各部門には、専門の知識を持つ看護師、ソーシャルワーカー、事務員を配し、総勢31名で精力的に活動しております。当センターが関連する活動の今年度の大きな目玉は、入退院支加算1（600点）を算定する体制へ移行することです。「入退院支援加算」は、2018年度の診療報酬の改定で新設され、元々存在していた退院支援加算が「入退院支援加算」へと改称され、入院中だけでなく入院前後、退院後の生活の支援する目的で作られました。このためには、病棟、入院前支援と後方支援、外来看護師がつながりをもって患者さんのサポートをしていく体制作りが大切です。当院及び当センターでは、これまでプロジェクトチームを立ち上げ病院全体で入退院支援加算を算定する体制づくりを進めてきましたが、準備が整い、本年度いよいよ本格始動となります。入退院支援加算算定によって、院内での患者サポート体制が、病院経営につながることにするとともに、患者さんの満足度向上につながるものと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、昨年、当院は難病診療連携拠点病院の指定を受けました。秋田県から難病特別対策推進事業の委託を受け、難病診療ネットワークの構築、医療相談、レスパイトケア（一時休息）入院確保、在宅難病患者支援が期待されています。難病支援コーディネーターが当センターに着任し、難病支援事業にもより積極的に取り組んでまいります。私が病院の診療として担当しております神経内科、消化器内科領域は、ともに支援を必要とする患者を多数かかかえており、私自身、センターの難病支援事業に期待しています。神経難病は、介護、生活支援を要する代表的疾患です。また、消化器内科領域でも潰瘍性大腸炎、クローン病といった炎症性腸疾患は、全国的に最多数を占める難病ですが、症状の1つである疲れやすさから、仕事では退職転職などの影響を受け、また、若年層に好発する疾患であるため、就労支援の重要性が求められています。このほか難病支援を要する事例がありましたらセンターまでお問い合わせください。

最後に今年度も当センターの活動にご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

<入退院支援加算1 算定取得プラン>



- 情報収集と共有によるリスク回避
- 安心安全な入院治療による患者満足度向上
- ベッドの効率的な運用と医療の質確保
- 業務の効率化
- 病院経営への貢献
- 地域包括ケアシステムの構築に貢献

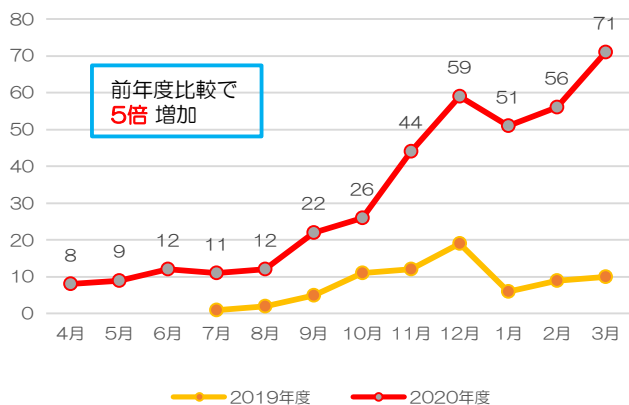
2021年度 センター目標

1. 入退院支援、地域医療連携、がん・遺伝相談、相談支援の4本柱を軸として、
院内外の各部門及び関係機関との連携を強化し、患者サービスの向上を図る
2. がん、遺伝、難病等に関する相談対応の周知とネットワーク構築を推進し相談支援の充実を図る

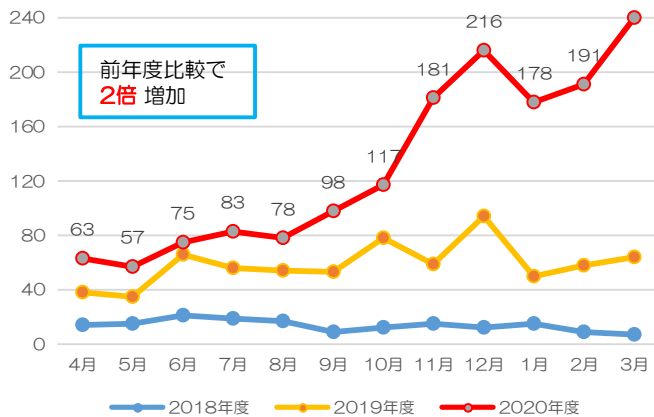


2020年度入退院支援に関わる算定実績

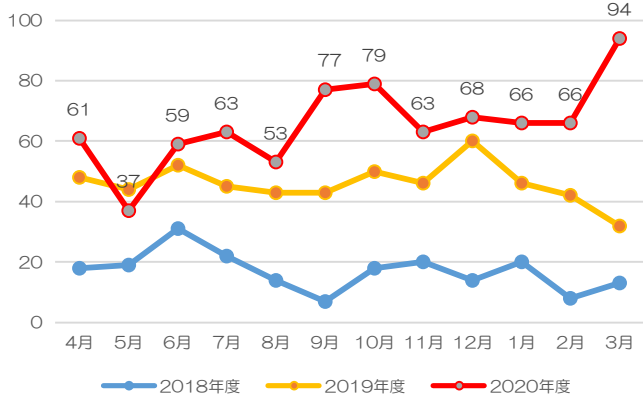
入院時支援加算 (200点)



入退院支援加算2 (190点)



介護支援等連携指導料(400点)



〈2020年度の入退院支援に関わる連携体制の強化〉

- 1) 入院前支援を10→19診療科に拡大、全入院患者の約2割に対応した
- 2) 医療安全管理部・薬剤部と連携し、入院前の中止薬確認を行い、インシデント防止に努めた
- 3) 算定件数増加を得る体制を整備し、病院経営に貢献した
- 4) 入退院支援加算2→1の上位加算取得に向けた体制を構築した
 - 入退院支援Webセミナーを受講し、入退院支援フローを見直した
 - 入院前支援における業務と役割分担について、整備した
 - 診療報酬に関する知識・理解を深め、医事課に確認した (入院前支援療養計画書、20医療機関等との連携等)
 - 入院患者全例への退院支援介入を2-6病棟から開始した
 - 医療情報部の協力のもと、「チーム医療機能」を設置した
 - PFM導入プロジェクトチームと共に、院内の体制構築に参画した



新しいスタッフのご紹介



伊藤 結貴 がん看護専門看護師

4月からセンターに配属となりました。「入退院支援」「地域医療連携」「がん・遺伝相談」「相談支援」と、「知っているようで知らなかった」多岐にわたるセンターの役割に、ただいまとても戸惑っております。日々学びながら、より充実した患者さんへの支援ができるように頑張ります。また、がん看護専門看護師として、がん患者さんやご家族、関わる医療スタッフの皆さんの力になれるよう、努めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

病院玄関前の花壇

季節の花々や草木が心を癒してくれています。

ちょうどチューリップがとても愛らしく咲いていました。

花壇は、センターの有志が中心になり、丹精こめて、とてもステキに造園しています。

これからの季節、どんなお花を目にすることができるのか、とても楽しみです。

